一般質問

12月定例会では10名の議員が一般質問を行いました。一般質問は、現在市が抱えている重要な課題について市長などにただすもので、下の表のとおり質問を行いました。詳しくは２月上旬に発行予定の本会議録を図書館等でご覧ください。

松尾　崇	○落書き被害について
吉岡　和江	○健康、安心、活力あるまちづくりをめざして（高齢者福祉、住宅、商工業の振興に関連して）
髙橋　浩司	○市民の要望を実現する為に行政として何をすべきか（市民相談について、監査制度について、議会や教育委員の役割について、オンブズマン制度について、すぐやる課について、行政評価について、マルチ職員教育について）
前田　陽子	○ごみ問題について○住宅福祉・地域福祉の充実について
小田嶋敏浩	○玉縄地域のまちづくりについて
千　一	○支援費と介護サービス事業者について○高齢者・障害者の市内バス料金の無料化について○深沢学習センターの多目的トイレ及びエレベーターを車椅子利用者にも使いやすく○大船駅モノレール下の階段をエスカレーターに○地元民も鎌倉離れ○鎌倉市中央図書館の17年度までに付けるとお約束した誰もが使えるエレベーターについて
三輪裕美子	○教育の諸課題について○子育て支援のあり方○障害児・者政策について
伊藤　玲子	○広町について○教育行政の諸問題について
大石　和久	○「ゴミ行政」について○「子育て支援」について○「自治基本条例」について
岡田　和則	○大船のまちづくりについて

ごみ問題と在宅福祉・地域福祉について　前田陽子 議員

質問…プラスチック類の分別収集の試行が始まったが、ごみ組成調査が生かされていない。

部長…できるだけ正確な数値の収集を心掛けていく。

質問…全面実施の時期はどうか。

部長…時期の前倒しも検討する。

質問…ぜひ、前倒ししてほしい。資源物の毎週収集が来年二月に始まるが、この施策のごみ減量目標をどう捉えているか。

部長…目標値は設定していない。

質問…行政が目標も持たずに税金を使って施策を実施するのは納得できない。家庭系ごみの有料化は行わないのか。廃棄物減量化及び資源化推進審議会で検証はされている。

市長…やめる方向ではなく、慎重に検討している。

質問…改めて導入を求める。事業系ごみ排出方法調査結果は。

部長…御成町での調査では、許可業者との契約は四五%、ステーション出しが四九・二%という状況だ。

質問…家庭系ごみのステーションに出している事業者が最も多いという実態は問題で、対応を検討すべきだ。

布団のリサイクル事業が計画されたのに実施していない。実施できないことの説明や報告がない。

部長…できるだけ報告していく。

質問…ごみ処理広域化基本計画における施設整備について。

部長…焼却施設は横須賀と逗子、生ごみ資源化施設は横須賀と鎌倉で検討している。

質問…発生抑制を基本に四市一町の費用負担を考えるべきだ。ごみ排出量に比例する搬入割と人口割をどう考えるか。

部長…構成自治体間の実質的な公平性を確保することが必要。

質問…今泉クリーンセンター改修については、住民協定の協議をしっかりやってほしい。

次に福祉について。日常生活圏域における福祉サービスを検証するために学校区ごとの高齢化率の調査が必要だが。

部長…できる範囲で資料の整理に今後、努めていきたい。

質問…人口推計も学校区ごとにやるべきだ。

部長…参考資料という形でも今後は出していきたい。

質問…データの把握と分析、情報開示についての見解は。

市長…目的によりデータの把握と使い方は違ってくる。原点に戻って把握していく。

落書き被害について　松尾　崇 議員

質問…今年二月から四月にかけて鎌倉市が行った、落書きの実態調査結果について、概要を教えてほしい。

部長…調査をした地域は、鎌倉駅、大船駅、北鎌倉駅周辺のまち美化推進重点区域、さらに海岸線一帯、この四地域で調査を実施した。落書きをされた個所数については、全体で七百五十カ所あり、大船駅周辺が三百二カ所、海岸線が二百二十七カ所、鎌倉駅周辺が百九十五カ所、北鎌倉駅周辺が二十六カ所となっている。

質問…アメリカのジョージ・ケリング教授らが発表した割れ窓理論というのは、ビルの割れた窓を放置しておくと、監視の目が届かないと見て、次々に窓が割られ、やがては大きな犯罪につながる。だから、小さな犯罪の芽を摘んでいくことこそが大きな犯罪の抑止になるというものだ。

鎌倉の場合はどうか。最近は、路上強盗やひったくりなどが増加し、また外国人による風営法違反が増加するなど、治安がとても悪化している。こうした情勢を見極め、身近な軽犯罪予防に努めることが大変重要である。

現在、市内に落書きをされた場合、鎌倉市はどのように対応しているのか。

部長…落書きをされた施設の管理者の責任において消去していただくことになる。

質問…落書きの被害を百%防いでいくのは無理かもしれないが、行政として未然に防ぐ対策を取っていく必要がある。落書き禁止条例制定についての考えを聞きたい。

部長…落書きの実態を十分把握しながら、他市の先進事例等を踏まえて、適切な選択をしていきたい。

質問…危機意識というものを本当に持っていただきたい。市長は、今後どのような対策を取るべきだと考えているか。

市長…暴走族との問題もかかわりがあるというふうに思っている。現在、県の方で暴走族の追放条例などを検討している。そういったことも見ながら、今後、検討していく。

質問…行政には、乱れた町の秩序を正して、犯罪を誘発する環境をできるだけなくしていく責任があると思う。今後の行政のきっちりした対応、取り組みをお願いする。

落書き被害（鎌倉海浜公園で）

高齢者福祉充実・住宅・商工業振興について　吉岡和江 議員

質問…九月議会で先送りと答弁していた今泉市営住宅跡地への特養ホーム建設について、今回、稲村ガ崎四丁目公有地との同時建設を決断したことは評価する。しかし、待機者は六百十八人と深刻。建設プロジェクトチームをつくり、取り組むべきではないか。

市長…横断的組織は必要。今後の検討材料と認識している。

質問…在宅介護支援センターへの委託費用は少なく、他の業務と兼務せざるを得ない。高齢者の生活相談や実態把握等の機能充実が必要ではないか。

部長…地域に数を増やし、身近な相談機能として強化したい。

質問…介護、閉じこもり予防、健康寿命のために、規則正しい食事や筋力向上トレーニング等が大事である。川崎のパワーリハビリの例や世田谷のサロン助成などを参考に健康づくり、介護予防等に対する総合的組織づくりへの取り組みを。

市長…お年寄りが元気で暮らしていただくことは最大の課題である。健康、食事、スポーツ、生きがいなどの問題は、市長部局だけでなく、教育委員会、社協、市民団体と連携を取りながら進めていきたい。

質問…公営住宅の設置状況は茅ヶ崎市に次いで低い。市営住宅の入居希望者の五四%が高齢者であり、高齢者の住宅確保は大変である。新規の借上住宅の計画や応募回数が多い人の優遇措置の検討は。

部長…借上住宅については検討していきたい。また、十回以上の応募者、落選者には無抽選入居等の救済措置を講じていきたい。来年度は過去六年間の落選回数を点数化するなど改善したい。

質問…介護保険の住宅改修事業で、市が直接業者に工事代金を支払う、受領委任払いができないか。

部長…他市の実施状況を研究し、今後検討していきたい。

質問…住宅リフォーム補助金制度は板橋区が初めて実施し、全国に広がりつつある。地元建設業者にも仕事が回り、経済効果や地域の活性化につながる制度と考えるが、どうか。

部長…商工業振興に対する一つの手法と考える。先進市での目的、内容、商工業振興に与える効果等を調査・研究し、検討していく。

激変する玉縄地域の土地開発などについて　小田嶋敏浩 議員

質問…十一月二十日、事業者側の任意の形で、昌運工作所跡地約四万五千平方㍍にホームセンター、スーパーマーケット、深夜まで営業するレストラン等を含む複合商業店舗計画についての説明会が開催されたが、その概要と、鎌倉市まちづくり条例に基づく重要開発事業の協議要請方針の主な内容を聞きたい。

部長…建物は地上三階建て、店舗面積約二万四千七百平方㍍、駐車場約千八百三十台などの計画で、説明会は交通問題が質疑の中心と聞いている。方針の主な内容は、今回の開発事業が土地所有者と二十年間の事業用借地権設定契約に基づく限定的な土地利用になることから、交通問題等周辺地域への影響を配慮するとともに、道路及び歩行者空間の確保など、地域の課題を解決できるよう誘導することなどだ。

質問…主に商業調整を目的にした大型店の出店規制の法律が、地域の生活環境への配慮を求める制度に法改正されたことから、地域商業に大きな影響を与えることは必至である。また、経済企画庁の平成十二年度調査報告では、大型店撤退後の商店街の五七・七%が売り上げ減少と回答している。商店街振興を考えるべきだ。

部長…今後商工会議所等関係機関とも協議していく。

市長…鎌倉の商店の方はこの大型店が出ても勝てるように、知恵と努力をしていただけると確信している。

質問…この周辺には大船工業技術高校跡地の早期処分やナスステンレス工場敷地の住宅開発、武田薬品工場の撤退など、重大な影響を与える土地利用の激変が予想される。この状況把握と対応を聞きたい。

部長…県は大船技高跡地の早期処分の意向だが、市は地元要望を踏まえ、特段の配慮を県に求めている。ナスステンレスは、現在施工中のマンション開発を除く約四万平方㍍を売却処分した。市はこの敷地の戸建て住宅とマンション計画の事業者と協議中だ。武田薬品工場は二〇〇六年三月に生産停止の予定で、その後については検討中とのことだ。

質問…住民と協議を重ね、具体的な玉縄のまちづくりについての検討を強く求める。

市民要望実現に向け行政は何をすべきか Vol.1　髙橋浩司 議員

質問…市長は、市政は最大のサービス産業だと基本に掲げているが、市民の声を大切にして市政運営をしていくためにどのような運営を心掛けているのか。

市長…市政に市民の声を反映していくことは、施策の最も基本と考える。皆さんの考えができるだけ施策に反映できるように努めていく。

質問…市民の声を受け止める法制度は、行政不服審査制度、行政事件訴訟制度、行政相談制度、監査制度、直接請求、議会への陳情・請願等があるが、それらの手前の相談体制はどのようになっているのか。

部長…一般的な市民相談については、電話等により、直接担当課へ要望や苦情が寄せられるもの、市政情報相談課や各支所に配置した地域市民相談員に寄せられるもの、市長への手紙やファックス、メールで寄せられるもの、ふれあいとーく、市政情報宅配便、ふれあい地域懇談会、市政モニター等を通して寄せられるもの、弁護士や税理士等による各種専門相談も行っている。

質問…市民相談窓口に寄せられる相談に対し、その要望が満たせた数値があるが、平成十一年度三四・五%、平成十二年度三六%、平成十三年度二三・八%、平成十四年度十一・九%と比率が下がってきているが、どのように受け止めているのか。

部長…解決が大変難しい問題に対し、多方面から要望や苦情が寄せられるケースが増えているのが原因と考える。

《議会決定は行政方針》

質問…議会の役割をどのように認識しているのか。

市長…憲法、地方自治法に規定されたとおりと考える。

質問…地方自治法には町村は、条例で議会を置かず、選挙権を有する者の総会を設けることができるとあり、住民直接参加の原則を表している。直接参加が難しい中、代理者を立てて議会で議論している以上、議会で決まったことは、市民の意思であり、市の意思であると言える。市長にはぜひ、この認識を持って市政運営に臨んでいただきたい。

なお、オンブズマン、すぐやる課、マルチ職員については改めて質問したい。

地元民も鎌倉離れ・ユニバーサルデザインを　千　一 議員

質問…東京の三多摩地区などには支援費により、二十四時間介護の対応ができる事業者もたくさんあり、そちらに引っ越される方もいるので鎌倉市としては恥ずかしい限りである。どう考えているのか。

部長…鎌倉市内を事業エリアにして現在、二十四時間対応できる事業者はいない。今後二十四時間対応できる事業者の確保に向け努力していく。

質問…身体障害者のショートステイ施設も市内には一つもない。どう考えているか。

部長…今後、施設整備に向け検討していく。

質問…深沢学習センターには多くのサークルがあり、市民も多く集う場所だが、多目的トイレは、座って右後ろにしか水を流すレバーがない。また、おむつ交換のできる設備もない。エレベーターにおいては車いす利用者等が使えるスイッチもなく、ミラーもついていない。前進ある答弁を願う。

部長…だれもが使いやすい設備に改善し、対応していきたい。

質問…大船駅モノレール下のバスターミナルでは多くの人が車道を突っ切ってしまうのでとても危険である。それを改善するためにどのようにするのか答弁を願う。

部長…警察等関係機関と協議し、安全対策を講じていく。具体策としては横断防止さく及び注意看板等の設置とともに交通広場利用車両に対しても注意を呼びかけていく。

質問…鎌倉は観光都市でありながら各観光スポット付近にはだれもが使えるトイレが少なすぎる。また、段差も多いので桜を見に行くにしても鎌倉の車いす利用者や歩行困難な方は鎌倉の桜ではなく、横浜や藤沢の桜を見に行ってしまう。

そのような鎌倉に高齢者等が来られるにはよほどの覚悟が必要である。段葛の桜は段差があるため地元の車いす利用者でさえも行きにくい。小町通りの商店街では観光客が減り、店をたたむところも多くなった。その辺も含めだれもが使えるトイレや段差のことについて答弁を願う。

部長…今のところ用地確保等のことから新設は難しい。今後の新設、改築の際には車いすの使える公衆トイレの設置について整備していきたい。

広町緑地保全について教育行政の諸問題　伊藤玲子 議員

《広町緑地保全について》

質問…広町緑地を公有地化する買収には賛成である。しかし買収時期と価格に問題がある。稲村ガ崎山林買収と同じ手法だ。つまり事業者の言いなりの高額価格ではないか。価格交渉の中で支出軽減の努力をしたのか。

市長…買収実績などを参考に最大限努力してきた。

質問…山一土地はバブル最盛期に広町の開発は難しいことを承知の上で買った土地である。今、土地価格は三から四割下落しているが、最高時に近い価格でなぜ買い取るのか。広町はなぜ常盤山より一平方㍍二千六百円も高いのか。山一土地は開発資力、能力、資質、実績のない業者で、しかも事実上倒産した会社を通常の業者という認識でかかわってきたのか。平成七年に開発許可行政の考え方が変わり、都市計画法三十二条の同意・不同意について許可しなければならないという考え方がなくなった。にもかかわらず行政はなぜ市街化区域だから開発されるとばかり考えるのか。行政にとって有利な条件をなぜ価格交渉の条件にしないのか。

市長…適正価格については市有財産評価審査会から答申を頂き、三十二条については顧問弁護士と相談していない。

質問…今回の買収価格には非常に不透明で疑問が多過ぎる。

《教育行政の諸問題について》

質問…教職員組合主催の横浜地裁判決であくまでも組合活動である教育研究集会に神奈川県市町村教育長会連合会、同教育委員会連合会、県公立小・中学校長会等の県下教育関係団体等により構成された神奈川県の教育を推進する県民会議及び神奈川県PTA協議会が後援団体として教育研究集会に加わっているが、この実態をどう考えるか。

教育長…対応を考えなければいけないかなと考えている。

質問…教職員の服務規程がある。教員はこの服務義務の宣誓をしている。法令に従う義務、上司の命令に従わなければならない、校長は上司であるという宣誓をしながら校長の命令に従わない教員をなぜ放置するのか。

教育長…再度、校長会等を通じて指導の徹底を図っていく。

大船のまちづくり　岡田和則 議員

質問…大船駅西口駅前の放置自転車対策を聞きたい。

部長…既存駐輪場の増設などを含め、検討・協議している。

質問…市長公約の大船駅西口駅前整備計画案の前進はこのままでは困難だが、市長はどう考えるのか。

市長…横浜市と良好な関係を保ちながら、少しでも快適・安全に利用できる西口にしたい。

質問…ナスステンレスが自社敷地四㌶を売却したが、そこにマンション計画はあるのか。

部長…四㌶を二分割し、それぞれ別の事業者に売却した。戸建て計画とマンション計画がある。

質問…平成十六年末にホームセンターがオープンする予定だが、大船駅西口整備ができていないので交通渋滞が考えられる。事業者から出された交通量調査だけで判断するのか。

部長…交通量調査は原因者負担が基本。交通問題全般については、関係者と十分協議するよう事業者に要請している。

質問…児童・生徒の交通安全対策はどうするつもりか。

部長…歩行者空間の確保は特段の要請をしている。

質問…ホームセンター開設に関連して、青少年の非行問題をどう考えるのか。

部長…青少年に悪影響のある店舗開設はしないと回答をもらっている。オープン以後も街頭パトロールを定期的に実施するなど非行防止に努めたい。

質問…玉縄地域の地元商店会との関係はどう考えるのか。

部長…設置者に地元商店会への説明会をお願いしている。

質問…芸術館通りを利用して暫定駐輪場を造るのか。

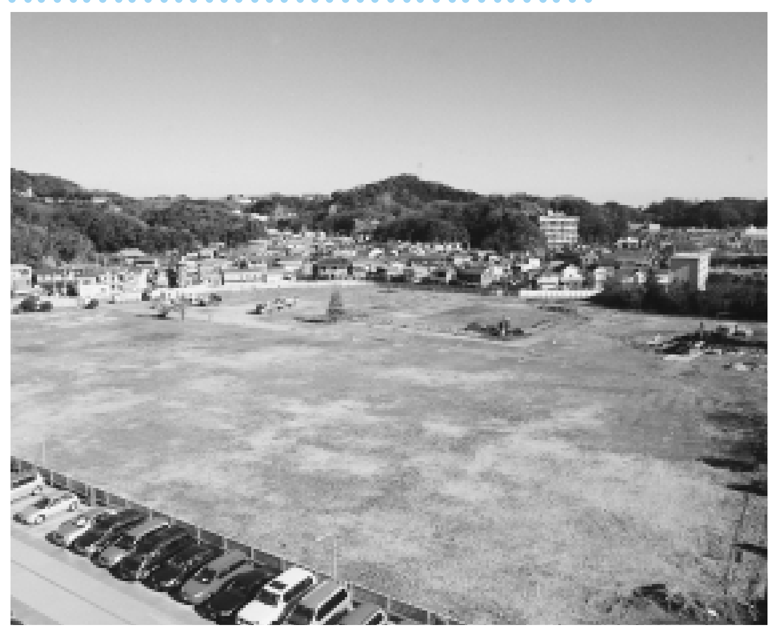
部長…暫定、仮設的対応を図ろうとしているが、地域住民のコンセンサスや、ほかにクリアしなければならない問題等がある。これらを検討し、実現可能性が確認できたときに議会へ報告したい。

質問…自転車監視員は、自転車を整理して、その空いた場所にまた自転車を入れている。整理だけで、本来の監視業務をしていないのではないか。

部長…そういうことはない。

質問…芸術館通りは大船の若宮大路としてきちっとしていこうというのが合意だった。放置自転車はやめてもらいたい。

市長…都市軸として一歩一歩推進していく覚悟だ。



開発が計画されている昌運工作所跡地

教育の諸課題・子育て支援・障害児者政策　三輪裕美子 議員

質問…来年度から順次、市単独で小中学校教科書の採択を行うことになるが、現場の教師の考えをどう反映させるのか。

部長…各学校での調査・研究結果を参考資料としていた経過を踏まえ、現在検討中である。

質問…教師の意見を十分踏まえ、議論するよう要望する。

次に、深沢小学校の転用予定の教室について、現在の検討状況を聞きたい。

部長…幅広い複合的な施設としての活用を検討している。

質問…地域開放の、防音設備のある音楽室への転用は。

部長…施設整備等の課題が多い。

質問…学校の余裕教室については、子どもの家への転用なども検討してほしい。

次に、新設の子どもの家・子ども会館から民間委託にするとの方針に変更はないのか。

部長…変更はないが、検討課題があり、植木の施設は当面公営で実施する。

質問…平成十四年に児童福祉審議会が答申を出した時から検討を始めていれば、開設と同時に民間委託ができたはずだ。

次に、七里ガ浜小学校区の子どもの家の進ちょく状況は。

部長…学校敷地の活用も含め学校と協議中である。引き続き早期開設に向け努力する。

質問…各小学校区に設置後は、御成の施設改修や長谷の位置の見直し等、地域の実情に合った整備を要望する。

次に、異世代交流の場や青少年の居場所という観点から冒険遊び場の活用が望まれるが、市の考えを聞きたい。

部長…次世代育成支援対策推進法の策定指針での指摘もあり、実現に向けての活動を支援していきたい。

質問…障害児・者政策について、学習障害等の障害を正しく理解するために、すべての教師と保護者を対象に、研修やLD体験会等の開催を要望する。

部長…今後も、研修や交流の充実に取り組んでいきたい。

質問…支援費制度が導入されたが、知的障害者の自立支援のサービス不足をどう思うか。

部長…事業者の育成が急務と認識している。

質問…グループホームや地域作業所等、地域で自立して暮らすための支援体制を整えていく必要があるが、どうか。

部長…積極的に進めていきたい。

ごみ行政・子育て支援・自治基本条例について　大石和久 議員

質問…大和市で大型生ごみ処理機の爆発事故があったが、鎌倉市内に設置している大型生ごみ処理機の安全性はどうか。

部長…市内に設置された十一台について、各メーカーから安全であることを確認している。

質問…本年九月からモデル地区を設け、ペットボトル以外の容器包装プラスチックの収集を行っているが、地域別などの排出比較は出ているのか。また、全市実施したときの予想収集量を聞きたい。

部長…回収率は伸びており、特に植木のマンション群の回収率が高くなっている。また、全市実施したときの収集量は二千三百㌧と見込んでいる。

質問…広域化について、広域施設の配置案が出たとの答弁があったが、再度確認したい。

部長…最終処分場が三浦市、植木せん定材資源化施設が葉山町、非容器プラスチック分別施設が鎌倉市、焼却施設が横須賀市と逗子市、生ごみの資源化施設が鎌倉市と横須賀市という内容で検討している。

質問…資源再生部の技能労務職員が今後五年間で五十名以上減少する中で、民間委託化を推進するべきだと思うが、どうか。

部長…かまくら行財政プラン後期実施計画に基づき委託化に取り組んでおり、一層の推進を図っていきたい。

《子育て支援について》

質問…次世代育成支援対策推進法は、施策を実行するに当たり多くの調査を行い、行動計画を策定することになっているが、鎌倉市の対応は。

部長…平成十六年一月にニーズ調査を実施し、加えて市独自の調査も行い、行動計画に反映させたい。また、こども局のみならず、全庁的な体制が必要と考えている。

市長…こども局を中心に、全庁挙げて次世代育成支援に取り組んでいきたい。

《自治基本条例について》

質問…市民一〇〇人会議の設置と、そこで今後まとめられる提言は、発展的に自治基本条例に結びつくものと考えているが、自治基本条例制定とその時期について聞きたい。

市長…自治基本条例は、自立した自治体を築くために必要と考えている。早い時期の制定・施行を目指し検討していきたい。